

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【公開番号】特開2009-28084(P2009-28084A)  
【公開日】平成21年2月12日(2009.2.12)  
【年通号数】公開・登録公報2009-006  
【出願番号】特願2007-192332(P2007-192332)  
【国際特許分類】

A 6 1 F 5/56 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 5/56

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月16日(2010.4.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上顎歯列の咬合面に着脱可能に冠着される夫々上、下顎用部材と、下顎安静位の状態で、前記上顎用部材と下顎用部材とを連結する編み目状体または線状体で形成されて弾性かつ柔軟性を有する成る連結部材とを備え、前記連結部材は、

咬合平面に平行して上顎用部材の連結部材固定点及び下顎用部材の連結部材固定点をそれぞれ通る上顎仮想線及び第 1 下顎仮想線を設定し、

睡眠時の下顎安静位における前記上顎仮想線上の固定点 A から、前記上顎仮想線に垂直な線と前記第 1 下顎仮想線と交わる点を第 1 下顎仮想点 B とし、

睡眠時の下顎𪗇位における前記第 1 下顎仮想点 B の変位位置を下顎𪗇位の第 2 下顎仮想点 b とし、

前記第 2 下顎仮想点 b を通る前記第 1 下顎仮想線に平行する第 2 下顎仮想線を設定し、

前記固定点 A、前記第 1 下顎仮想点 B、前記第 2 下顎仮想点 b をフランクフルト平面に投影した点をそれぞれ点 A、点 B、点 b としたとき、

点 B と点 b との間の点 g に対応する前記第 2 下顎仮想線上の点 g から前記固定点 A までの距離に相当する長さ L を有し、

前記長さ L を前記上顎用部材及び前記下顎用部材に沿わせて、該長さ L の一端が前記固定点 A に固定され、他端が前記下顎用部材の前記固定部 A より後方で通常前記連結部材は、上顎の第 1 小臼歯と下顎の第 1 大臼歯とに概対応する位置において固定されて成ることを特徴とする口腔内装置の製造方法。